

敬語の基本を整理しよう

名前

図解・基礎

図解 | 敬語は「だれの動作か」「だれにいていないか」で考えよう

尊敬語

① だれの動作？

相手・先生・目上の人などの動作

② どう言う？

その人の動作や状態を
高めて表す

例：先生が来る → 先生がいらっしゃる

謙譲語

① だれの動作？

自分・自分側の人の動作

② どう言う？

自分側をへりくだって
相手を立てる

例：私が先生に言う → 私が先生に申し上げる

丁寧語

① だれにいていない？

聞き手に対していていないに言う

② どう言う？

「です・ます」などで
いていないに伝える

例：今日は雨だ → 今日は雨です

見分ける順番：① 動作をするのはだれかをたしかめる → ② 相手や目上の人などの動作なら尊敬語、自分・自分側の人の動作なら謙譲語を考える → ③ 「です・ます」などの丁寧語も入っているか確かめる

敬語は誰を立てる言葉？

図解を見て、正しいものの記号を○で囲みなさい。図解では、尊敬語は「相手や目上の人など→その動作・状態を高める」、謙譲語は「自分・自分側の人→自分側の動作をへりくだって相手を立てる」、丁寧語は「話し手→聞き手に丁寧に伝える」と整理します。

問1 尊敬語と謙譲語を見分けるとき、最初に確かめることとして最も適切なものはどれですか。

ア 文の長さ イ 動作をするのは誰か ウ 漢字の数

3種類の敬語

問2 説明を読んで、正しいものの記号を○で囲みなさい。尊敬語は相手や目上の人などの動作・状態を高める表現、謙譲語は自分や自分側の人の動作をへりくだって相手を立てる表現、丁寧語は聞き手に丁寧に伝える表現です。

「先生がお帰りになる」の「お帰りになる」は、どの種類の敬語ですか。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

基本の言い換え

問3 説明を読んで、空欄に入る敬語を書きなさい。「見る」は、相手や目上の人などの動作なら「ご覧になる」、自分の動作なら「拝見する」と言い換えます。

先生が作品を見る場合、「先生が作品を（ ）」と表します。

ミニチェック

問4 正しいものの記号を○で囲みなさい。

「この本は私の本です」の「です」は、どの種類の敬語ですか。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語